

各 位

上場会社名 スタイライフ株式会社
 代表者 代表取締役社長 藤田 雅章
 (コード番号 3037)
 問合せ先責任者 取締役経営管理部長 中 研悟
 (TEL 03-5785-7001)

平成24年3月期業績予想、及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年11月11日に公表した業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,494	△265	△275	△269	△12,628.13
今回修正予想(B)	8,009	△440	△447	△496	△23,284.20
増減額(B-A)	△485	△175	△172	△227	
増減率(%)	△5.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	8,485	△71	△89	△138	△6,980.64

修正の理由

平成24年3月期業績予想の修正の要因は以下のとおりであります。

1) ファッションコマース事業におけるLook's部門の低迷による影響

ファッションコマース事業における雑誌を通信販売のメディアとして展開するLook's部門が、インターネットショッピングサイトの台頭やセールの長期化など市場環境への対応が遅れたことによる収益の悪化が主な要因です。

同部門の改善は、当第2四半期以降、インターネットショッピングサイトの強化、季刊誌である「Look's」と「大人Look's」の差別化の促進、組織体制の見直しなどを進め、第3四半期以降、収益低下が下げ止まり、さらに、本年2月に発行を予定していた「大人Look's」を一度見送り、本年3月3日発行の「Look's 2012春 vol. 57」に要素を統合して1号当たりの収益をあげる施策にも取り組まれましたが、「Look's 2012春 vol. 57」において、期待通りのスタートを切れなかったことから、業績予想を修正するものであります。

なお、Look's部門につきましては、抜本的な改革が必要と判断いたしました結果、「Look's」及び「大人Look's」を一時的に休刊し、抜本的な体制の組み直しを行うとともに、インターネットショッピングサイト展開するネット部門の成長スピードを高めてまいります。

2) コスメ事業を展開する(株)ハイマックス(連結対象子会社)の業績低迷と同社株式の譲渡による影響

コスメ事業において、主体であるお客様に直接セールスを行う電話営業部門の落ち込みを、インターネットショッピングサイトの強化や新製品の投入、テレビCMやサンプル強化などによるプロモーション拡大などに注力し、新規顧客が増加傾向にあり、業績改善も進みつつあるものの、改善スピードは予想を下回って推移いたしました。

なお、本日、公表させていただいております「子会社株式((株)ハイマックス)の譲渡に関するお知らせ」のとおり、(株)ハイマックスの全株式をコスメ商品も含め幅広い分野で通信販売を展開する株式会社スクロールに譲渡することいたしました。

3) 生活雑貨事業におけるシステム開発、及び新製品開発の遅れによる影響

生活雑貨事業を展開するノーマディック(株)において、受発注から在庫管理、出荷までをトータルで行う基幹システムの導入を目指しておりましたが、完成に至らず、出荷ミスなどトラブルが発生するなど、一時的に営業に支障をきたすとともに、物流コストが大きく増加いたしました。

また、新製品の開発、導入が遅れたことから売上が伸び悩みましたことから、業績予想を下回る見通しとなりました。

以上の状況を受け、当第4四半期より、経営体制を一新するとともに、当社及び当社が属する(株)サマンサタバサジャパンリミテッドグループと同じビル内に本社移転し、グループとの連携を強化することで、ブランド力の向上、業績の回復、事業規模の拡大を図ってまいります。

なお、現在は、本年2月27日より、システムの入替、体制の見直しを行い安定稼動に入っており、また、新製品の企画・開発も順調に進めるなど、業績回復に向けた具体的な施策を行っております。

なお、来期以降の見通しにつきましては、Look's部門においてLook'sを一時的に休刊し、抜本的な改革を進め収益部門として再構築するとともに、(株)ハイマックスの全株式譲渡など、収益体制の再構築に向けた改革を当期に実施させていただくことで、業績の早期回復を見込んでおります。

詳細につきましては、本日、「平成25年3月期～平成27年3月期 中期経営計画に関するお知らせ」をあわせて公表させていただきますので、ご覧ください。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年11月11日発表)	—	0.00	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成23年3月期)	—	500.00	—	500.00	1,000.00

修正の理由

業績予想の達成に向け、改善、改革を進めてまいりましたが、上記業績予想の修正のとおりの見通しとなり、誠に遺憾ながら当期期末配当については、見送りとさせていただきます。

今後、配当をはじめとする株主の皆様への利益還元を拡充できるよう、本日公表させていただいております『平成25年3月期～平成27年3月期 中期経営計画に関するお知らせ』のとおり、業績を早期に回復させ、成長軌道の確立に注力してまいります。

※ 将来に関する記述等についての注意事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果(実際の業績及び配当予想額を含みますが、これらに限られません。)は様々な要因の変化により、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご理解ください。

なお、「1株当たり当期純利益」の予想数値の算出に使用した発行済株式数は、現在予想される期中平均株式数です。

以上